



皆様のお祈りとご支援を心から感謝いたします。

こちらに来て二カ月、時間を重ねるなかで、子どもたちとだいぶ打ち解けることが出来てきました。同時に人々との関わりが深められるにつれ、それぞれの抱えている内情も知るようになってきています。ある子どもは難病を抱えており、ある子どもは、津波でお祖母さんや従弟を亡くしており、お祖母さんはまだみつかってないそうです。またある子どもは片親だけと生活しています。私たちの行う学習支援（フレンドパーク）に元気に集まる子どもたちですが、みんなそれぞれに悲しみや不安を抱えているのです。そうした子どもたちの悲しみや不安につながって、少しでも安心を与えることができ、成長を支えていければと活動しているわけですが、今月の半ばには、私たちの関わっている小5の男の子のお父さんが脳出血で急逝されるということがありました。二年前の津波ではお祖父さんを亡くし、そこから少しずつ立ち直りつつあったところ、今度はお父さんを送ることとなったのです。運動会を一週間後に控えていた時期でもありました。お通夜の日、クリスチャンセンターの中澤竜生牧師夫妻と一緒に自宅を伺いましたが、その子は私を見ると少し安心した顔をみせ、身を寄せてきました。私としては、ただ背中をさすってやり、「困ったことがあったらいつでも言ってね」と言うくらいしかできなかったのですが、一緒にいてあげることで少しでも安心を与えられたらという思いでした……。三日後、学校の方はまだ行けていないながらも、その子は午後のフレンドパークには顔を出してくれました。すると同年代の子たちが寄って来て、「大丈夫か?」、「みんな心配してたよ」、「明日は学校来れるでしょ?」と声をかけてくれて、翌日その子はお母さんと一緒に登校することができました。そして週末の運動会にもみんなと一緒に参加することができました。地域の区長さんは、「震災後、フレンドパークのおかげで、地域の子どもたち同士が繋がるようになって、感謝しています。」とってくださいました。その言葉の通り、少しずつ子どもたちが、仲良く遊べるようになってきました。これまでは同じ小学校に通っていても、仮設に暮らす子と自宅に住んでいる子とは、互いに距離をおいていたのですが、第三者である私たちが関わり続けるなかで、そうした違いも超えてつながり合うことができるようになってきています。こうしたことは、他のコミュニティ支援の現場でも多く見られることのようにです。仮設などで、お茶会（お茶っこ）をするにしても、誰が主催者かによって、参加するかしないかが決まってしまうというのです。その点、地元の方ではない第三者の支援グループが呼びかけるならば、皆が参加し易いのだそうです。長引く仮設での生活、先の見えない歩みの中で、地元の方々が希望を持って毎日を通越することができるように支えていくことが求められています。これからも現地の常駐スタッフとして、子どもたちに寄り添い、一人ひとりの歩みを支えていけるように励んでいきたいと思っています。

6月からは石巻の渡波キリスト教会でも学習支援（子ども英語教室）を始めることになっています。また、南三陸町の歌津でも高台に児童館（プレハブとガーデン）を作って活動を拡げていこうとしています。他の地域と同様、ここが子どもたちの安らぎの場所となり、一人ひとりが健やかに成長していけるよう準備を進めています。

日曜日は、クリスチャンセンターや色々な教会で、礼拝の説教奉仕もさせていただいておりますが、6月・7月は色々と予定があるため、少しペースを調整していこうと思っています。

今後も、継続してこの働きを続けることができますように、お祈りとご支援を宜しく願いいたします。

*夏休みのプログラムをお手伝いくださるボランティアも求めています。ご協力いただけます方は、ご連絡ください。

ゲストルームもありますので宿泊も可能です。 timocsuzuki@gmail.com 080-5472-6987 (鈴木)

★5月初め、東京（国分寺バプテスト教会）から学生二名が来て、GWのプログラムを手伝ってくれました。

石巻の子どもたちと白玉だんご作り。イチゴやカボチャなどを入れてとってもカラフルなお団子になりました(^o^)



粘土みたいにハートとかトカゲとか色んな形を作って大盛り上がり♪

★運動会の応援



志津川小(南三陸町)の運動会。強い日差しの下、みんな一生懸命に取り組む姿がまぶしかったです。

「震災から二年が過ぎ、ほぼ前と同じ規模の運動会を行うことができました」という閉会式の言葉が心に残りました。校庭脇には仮設があり、まだまだ色々な課題を抱えている南三陸町の皆さんですが、こうした日常を重ねていくことが大事なのだと感じました。一緒に喜ぶことが支えとなり、癒しにつながる。そんなことを思わされた一日でした。

★19-20日、先月に続いて、日本園芸療法の方々に来てくださり、夏野菜を植えたり、先月作った「押し花」を使って、しおり作りを行うことができました。



毎月の訪問を皆さん楽しみにしておられます。
継続的に訪問くださるボランティアの方々の存在は
仮設で暮らす方々の大きな励ましとなっています。

皆さんもぜひ、応援にいらしてください。ご連絡お待ちしております。

~ Serve for Others

Live with one Another ~



<http://solailo.jp/>

鈴木手以 住所 〒986-0011 宮城県石巻市港根上がり松7 アズール S103

E-mail timocsuzuki@gmail.com Facebook [timocsuzuki](https://www.facebook.com/timocsuzuki)

支援金送金先 ゆうちょ銀行（支店名）〇一八（記号）10120（番号）普通 40265161

（名義）Sola *他銀行から送金くださる場合は下線の部分のみを入力ください。

*備考、またはWebの「送金内容のご連絡」から、「鈴木手以指定」とお知らせください。